

調査の概要

(1) 調査目的

1992年4月の診療報酬改定で、看護職員の処遇改善という観点から基準看護の重点評価、夜勤体制等への加算の新設が行なわれ、また、付き添い看護の適正化、看護職による在宅療養指導の評価が行なわれて、看護関係料金が大幅にアップした。この改定後の看護関係診療報酬請求、看護職員の勤務体制・労働条件等の実態を把握し、今後の診療報酬改定に向けての検討資料とする。

(2) 調査対象

「病院要覧」（1992年版 厚生省健康政策局総務課編 医学書院発行）の名簿に掲載されている全国病院の中で、伝染病院、結核・らい療養所、および国立、自治体立病院を除く病院8,611病院を調査対象とする。

(3) 調査方法と調査時期

1992年10月20日、調査票を各病院の看護部長宛てに発送した。看護部長が記入の後、本会調査研究室に返送した。病院閉鎖、診療所への転換、移転先不明で24票が戻ってきた。

(4) 回収状況

有効回収票は2,556票。回収率29.7%であった。

(5) 調査の担当

本会調査研究室（菊池令子）

(6) 調査回答病院の傾向

① 病院の種類

本調査回答病院の内訳は、「精神病院」291（11.4%）、「老人病院」284（11.1%）、「大学病院」60（2.3%）、「総合病院（大学病院を除く）」432（16.9%）、「その他の病院」1,489（58.3%）である。

「精神病院」「老人病院」は、質問の中で定義しなかったため、回答病院の判断にまかされている。「精神病院」「老人病院」と回答した病院は、基準看護の承認状況等から、全部あるいはほとんどの病床が「精神病床」「特例許可老人病床」である病院と考えられる。

病院の種類別に「平成4年医療施設調査」（厚生省統計情報部）の病院数に対する本調査回答病院の比率をみると、老人病院では調査回答病院の比率がやや低いが、一般病院と精神病院は、調査回答病院の比率が30%前後であり変わらない<表A>。

② 経営主体

本調査回答病院の内訳は、「医療法人」が最も多く1,358 (53.1%)、次に「個人」489 (19.1%)である。「公的(日赤, 済生会, 北海道社会事業協会, 厚生連, 国民健康保険団体連合会)」は211(8.3%), 「社会保険関係団体(全国社会保険協会連合会, 厚生年金事業振興団, 船員保険会, 健康保険組合及びその連合会, 共済組合及びその連合会, 国民健康保険組合)」67 (2.6%), 「その他」423 (16.5%), 「無回答・不明」8 (0.3%)である。

経営主体別に「平成4年医療施設調査」の病院数に対する本調査回答病院の比率をみると、「公的(日赤, 済生会, 北海道社会事業協会, 厚生連, 国民健康保険団体連合会)」病院では72.1%と高いが、「個人」病院では17.9%と低い(表B)。

表B 経営主体別 調査回答病院の傾向

	本調査 回答病院数 [A]	平成4年医療施設調査 による病院 数* [B]	調査回答 病院の比率 [A/B]
計	2,556 (100.0)	8,475 (100.0)	30.2%
医療法人	1,358 (53.1)	4,455 (52.6)	30.5%
個人	489 (19.1)	2,735 (32.3)	17.9%
公的医療機関	211 (8.3)	294 (3.5)	71.8%
社会保険関係団体	67 (2.6)	136 (1.6)	49.3%
その他	423 (16.5)	855 (10.1)	49.5%
無回答不明	8 (0.3)	— (—)	—

* 結核・らい療養所および国立・自治体立病院を除く

③ 許可病床数

本調査回答病院の内訳は、「100~199床」が831(32.5%)と最も多く、次に「50~99床」(19.8%)である。許可病床数別に「平成4年医療施設調査」の病院数に対する本調査回答病院の比率をみると、病床規模の大きい病院ほど比率が高い。「900床以上」では78.7%と高いが、「20~49床」病院では12.9%と低い(表C)。

本調査結果については、調査対象から伝染病院、結核・らい療養所、国立・自治体立病院が除かれていること、さらに「個人」などの小規模病院からの回収率が低い点に留意されたい。

表A 病院の種類別 調査回答病院の傾向

	本調査 回答病院数 [A]	平成4年医療施設調査 による病院 数* [B]	調査回答 病院の比率 [A/B]
計	2,556 (100.0)	8,475 (100.0)	30.2%
一般病院	1,981 (77.5)	6,311** (74.5)	31.4%
精神病院	291 (11.4)	999 (11.8)	29.1%
老人病院	284 (11.1)	1,165** (13.7)	24.4%

* 結核・らい療養所および国立・自治体立病院を除く
** 老人病院数は、「平成3年医療施設調査」(厚生省)による。

一般病院数は、「平成4年医療施設調査」(厚生省)より、この老人病院数をひいた数である。

表C 許可病床数別 調査回答病院の傾向

	本調査 回答病院数 [A]	平成4年医療施設調査 による病院 数* [B]	調査回答 病院の比率 [A/B]
計	2,556 (100.0)	8,475 (100.0)	30.2%
20~49床	225 (8.8)	1,748 (20.6)	12.9%
50~99床	506 (19.8)	2,253 (26.6)	22.5%
100~199床	831 (32.5)	2,349 (27.7)	35.4%
200~299床	461 (18.0)	1,117 (13.2)	41.3%
300~499床	370 (14.5)	744 (8.8)	49.7%
500~899床	122 (4.8)	217 (2.6)	56.2%
900床以上	37 (1.4)	47 (0.6)	78.7%
無回答・不明	4 (0.2)	— (—)	—

* 結核・らい療養所および国立・自治体立病院を除く

1992年 看護関係診療報酬改定の影響に関する調査

1992年10月
社団法人 日本看護協会

問1 病院所在地

1 北海道	2 青森	3 岩手	4 宮城	5 秋田
6 山形	7 福島	8 茨城	9 栃木	10 群馬
11 埼玉	12 千葉	13 東京	14 神奈川	15 新潟
16 富山	17 石川	18 福井	19 山梨	20 長野
21 岐阜	22 静岡	23 愛知	24 三重	25 滋賀
26 京都	27 大阪	28 兵庫	29 奈良	30 和歌山
31 鳥取	32 島根	33 岡山	34 広島	35 山口
36 徳島	37 香川	38 愛媛	39 高知	40 福岡
41 佐賀	42 長崎	43 熊本	44 大分	45 宮崎
46 鹿児島	47 沖縄			

問2 病院の種類

1 大学病院	2 精神病院	3 老人病院
4 総合病院	5 その他の病院	

問3 経営主体

1 医療法人	2 個人	3 公的医療機関
4 社会保険関係団体	5 その他	

問4 併設施設

1 老人保健施設	2 訪問看護ステーション
3 特別養護老人ホーム	4 在宅介護支援センター
5 その他 ()	

問5 許可病床数

1 20~49床	2 50~99床	3 100~199床	4 200~299床
5 300~499床	6 500~899床	7 900床以上	

問6 稼働していない病床がありますか。

1 ある	2 ない
------	------

その理由に(○)をつけてください。

1 看護職員が採用できないため	2 医師が採用できないため
3 その他 ()	

問7 看護料の承認で、該当するものすべてに○をつけてください。
(一般病棟)

1 特3類	2 特2類	3 特1類(Ⅰ)	4 特1類(Ⅱ)
5 基本看護(Ⅰ)	6 基本看護(Ⅱ)	7 1類(経過措置)	
8 その他看護1種	9 その他看護2種	10 その他看護3種	

(精神病棟)

11 精神特2類	12 精神特1類(Ⅰ)	13 精神特1類(Ⅱ)
14 精神基本1類	15 精神基本2類	16 精神基本看護
17 2類(経過措置)	18 3類(経過措置)	
19 その他看護1種	20 その他看護2種	21 その他看護3種

(老人病棟)

22 老人特例1類(Ⅰ)	23 老人特例1類(Ⅱ)	24 老人特例2類(Ⅰ)
25 老人特例2類(Ⅱ)	26 老人その他看護1	27 老人その他看護2
28 老人その他看護3	29 老人その他看護4	
30 老人その他看護5~8	31 老人その他看護9~12	
32 老人その他看護13~16		

問8 貴病院では、4月の診療報酬改定を契機に、基準看護をとりましたか。

1 基準看護をとった。
2 基準看護をとる予定である。
3 基準看護をとりたいが、困難である。
4 基準看護をとるメリット、デメリットについて検討中である。
5 基準看護をとる予定はない。
6 前から基準看護をとっていた。

→基準看護をとっていない理由について、いくつでも○をつけてください。

1 看護婦を募集しても応募してこない、就職しない
2 ケアのリーダーとなる看護婦がいない
3 院内の看護婦の賛意が得られない
4 院内の准看護婦の賛意が得られない
5 院長の賛意が得られない
6 その他 ()

問9 基準看護をとっていない病院にお聞きます。重篤、術後の患者の付添を看護婦、准看護婦に限定されたことで、影響がございましたらご記入ください。

問10 「入院医療管理料」または「入院医療管理移行計画加算」をとっていますか。

1 とっている	2 とる予定である
3 とりたいが困難である	
4 とるメリット、デメリットを検討中である	
5 とる予定はない	

→ 困難な理由についてご記入ください。

→ 現在とっているものに○をつけてください。

1 特例許可老人病院入院医療管理料（Ⅰ）
2 特例許可老人病院入院医療管理料（Ⅱ）
3 特例許可老人病院入院医療管理料（Ⅲ）
4 入院医療管理移行計画加算
5 特定介護料
6 老人痴呆性疾患治療病棟入院医療管理料
7 老人痴呆性疾患療養病棟入院医療管理料

→ とったことによるメリット、デメリットについてご記入ください。

問11 貴病院では、基準看護病棟と入院医療管理病棟を併設していますか。

1 併設している	2 併設する予定である
3 併設のメリット、デメリットを検討中である	4 併設する気はない

→ 併設したことによるメリット、デメリット、病院として工夫している点はどのようなことですか。

問12 貴病院では、「夜間看護等加算」をとっていますか。

1 とっている	2 とる予定である
3 とりたいが困難である	4 とるつもりはない

→ その理由を具体的にご記入ください。

問13 貴病院では、この1年間に看護職員の勤務体制の変更がありましたか。

<p>1 変更があった 2 変更を検討している 3 変更はない</p>	<p>→変更した内容にいくつでも○をつけてください。</p>
<p>1 3交替制を2交替制に変更 2 2交替制を3交替制に変更 3 看護職員の夜勤回数の減少 4 夜勤専従看護職員の導入 5 看護助手の夜勤導入 6 看護職員のフレックスタイム制の導入 7 その他 ()</p>	<p>→変更したことによる スタッフの評価はどう でしょうか。</p>
<p>1 3交替制を2交替制に変更 2 2交替制を3交替制に変更 3 看護職員の夜勤回数の減少 4 夜勤専従看護職員の導入 5 看護助手の夜勤導入 6 看護職員のフレックスタイム制の導入 7 その他 ()</p>	<p>→変更する予定の内容にいくつでも○をつけてください。</p>

問14 看護職員(パート含む)の勤務体制で該当するもの全てに○をつけてください。

<p>1 三交替 2 変則三交替 3 二交替 4 当直 5 夜勤専従 6 日勤専従</p>	<p>→準夜勤・中勤終了時間 午後 <input style="width: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時 <input style="width: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/> 分</p> <p>→所定の夜勤時間 <input style="width: 60px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間</p>
---	---

問15 看護職員の9月の平均夜勤回数をご記入ください。(婦長、パート職員、夜勤専従者は除いて考えます。)

三交替制・変則三交替制の場合 (中勤も夜勤として計算してください)

1 6.0回以内	2 6.1回~8.0回	3 8.1回~8.4回
4 8.5回~9.0回	5 9.1回~9.4回	6 9.5回以上

二交替制の場合

1 4.0回以内	2 4.1回~4.4回	3 4.5回~6.0回
4 6.1回~6.4回	5 6.5回以上	

問16 貴病院では夜間看護手当（割増賃金を除く）を引き上げましたか。

1 昨年引き上げた	2 今年引き上げた
3 今年中に引き上げる予定	4 引き上げていない

問17 夜間看護手当（割増賃金を除く）をご記入ください。

<三交替制の場合>	深夜勤1回	<input type="text"/>	円
<変則三交替制の場合>	深夜勤1回	<input type="text"/>	円
<二交替制の場合>	夜勤1回	<input type="text"/>	円

問18 次の看護関係診療報酬の中で、とっているものにすべて○をつけてください。

1 在宅療養指導料、老人在宅療養指導料	6 精神科デイ・ケア
2 老人退院時指導料、老人退院時リハビリテーション指導料	7 精神科ナイト・ケア
3 退院前訪問指導料、老人退院前訪問指導料	8 老人デイ・ケア料
4 在宅患者訪問看護・指導料、寝たきり老人訪問看護・指導料、退院患者継続訪問指導料	9 重度痴呆患者デイ・ケア料
5 精神科訪問看護・指導料	10 緩和ケア病棟入院料

問19 看護関係料金収入は、昨年に比べ今年何%アップしましたか。7月で比較してください。

%アップ → 収入増に影響したことに○をつけてください。中でも大きく影響したことに1つ◎をつけてください。

1 看護関係点数の値上げ
2 特3類承認をあらたに受けた
3 基準看護の類をあげた
4 基準看護をとるようになった
5 「夜間看護等加算」をとった
6 その他 ()

問20 看護要員の総人件費（看護補助者・介護職員含む）は、昨年に比べ何%アップしましたか。夏のボーナスの支給月で比較してください。

%アップ → 人件費増に影響したものに○をつけてください。中でも大きく影響したものに1つ◎をつけてください。

1 増員	2 ベースアップ
3 諸手当引き上げ	4 ボーナス引き上げ
5 福利厚生費引き上げ	6 パート時給引き上げ
7 その他 ()	

問21 看護婦の9月の税込給与は、「新卒看護婦」と「勤続10年の看護婦」の場合、それぞれいくらですか。ともに、「3年課程養成所卒、個人契約賃貸住居、夜勤8回、超勤手当なし」とします。

新卒看護婦の場合 円

勤続10年の看護婦の場合 円

問22 勤続10年の看護婦の「夏のボーナス」の額と、昨年に対するアップ率をご記入ください。

万円 昨年に比べ %アップ

問23 看護婦のパートタイマーの時給は日勤帯で平均いくらですか。

時給 円

問24 貴病院の週休形態に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|---------------------|----------|
| 1 週休1日 | 2 週休1日半 | 3 完全週休2日 |
| 4 月3回週休2日 | 5 月2回週休2日(隔週週休2日含む) | |
| 6 月1回週休2日 | | |

問25 貴病院には施設内保育所がありますか。

1 ある 2 ない

→保育児童数の定員 人

→運営主体 1 病院 2 利用者の共同保育 3 その他()

問26 この1年間の看護職員の処遇改善に影響したことにいくつでも○をつけてください。中でも特に大きく影響したことに1つ◎をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1 看護関係診療報酬改善による収入増 |
| 2 診療報酬改定全般による経営改善 |
| 3 人事院勧告による医療職(三)表の改善 |
| 4 世間の春闘妥結額・ベースアップ率 |
| 5 労使関係 |
| 6 病院としての人手確保対策 |
| 7 その他() |

病院看護の実態と診療報酬

問27 貴病院では、昨年10月に比べ看護要員数が増えましたか。

1 増えた	2 変わらない	4 減った
-------	---------	-------

問28 貴病院では、次の看護要員を採用しようと思えばすぐ充足できますか。
また、今年中に何人採用したいとお考えですか。
それぞれについて該当する番号に○をつけ、人数をご記入ください。

	充足の見通し			採用意向		
	1 容 易 に で 充 足 す	2 な 充 ん 足 と で か き る	3 き 困 わ 難 め で あ る	1 採 用 予 な 定 し	2 採 用 し た い	人数
婦長クラスの看護婦	1	2	3	1	2	名
主任クラスの看護婦	1	2	3	1	2	名
新卒看護婦	1	2	3	1	2	名
中途採用看護婦	1	2	3	1	2	名
准看護婦	1	2	3	1	2	名
介護職員	1	2	3	1	2	名
夜勤できる常勤看護職員	1	2	3	1	2	名
夜勤できる非常勤看護職員	1	2	3	1	2	名

問29 看護職員（正職員）の平均勤続年数は何年ですか。
（婦長）

1 ~3年未満	2 3年~6年未満	3 6年~9年未満
4 9~12年未満	5 12年~15年未満	6 15年以上

（看護婦）

1 ~3年未満	2 3年~6年未満	3 6年~9年未満
4 9~12年未満	5 12年~15年未満	6 15年以上

（准看護婦）

1 ~3年未満	2 3年~6年未満	3 6年~9年未満
4 9~12年未満	5 12年~15年未満	6 15年以上

問30 看護婦の勤続年数について、どのようにお考えですか。

1 ちょうどよい	2 長すぎる	3 短すぎる
----------	--------	--------

勤続年数についてご意見がございましたらご自由にご記入ください。

問31 看護関係診療報酬や看護職員の確保等についてご意見をご自由にご記入ください。

*「基準看護をとった」「入院医療管理料をとった」「三交代を二交代に変えた」など看護関係診療報酬に変化があった病院で、詳しいことを電話等でお聞かせいただける病院がございましたら、下記に電話番号をご記入ください。

☎ () - () - ()

——ご協力まことにありがとうございました。——